

第三者評価結果報告書

総 括	
対象事業所名	アスク藤が丘保育園
経営主体(法人等)	株式会社日本保育サービス
対象サービス	児童分野 保育所
事業所住所	〒227-0043 横浜市青葉区藤が丘2丁目4-10サンデュール藤が丘1階
設立年月日	平成20年4月1日
評価実施期間	平成26年8月～平成26年11月
公表年月	平成27年4月
評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部
評価項目	横浜市版
総合評価（優れている穂点、独自に取り組んでいる点、改善すべき事項等）	
<p>【施設の特徴】</p> <p>1、立地面から見た特色と園の概要 平成20年4月1日に開設され、0歳から5歳までの42名の園児が在籍しています。東急田園都市線藤ヶ丘駅から徒歩3分、5階建てマンションの1階部分を保育園として使用しています。園庭はありませんが、ウッドデッキがありプール遊びをし、近隣には向かいのマンションの公園や藤ヶ丘駅前公園、もえぎ野公園など大小さまざまな公園があり、自然と触れ合う環境があります。</p> <p>2、保育の特徴 設置法人本部から派遣される専任スタッフによる英語教室、リトミック、体操教室が毎週あり毎月1回クッキング保育を行い、楽しむ心や学ぶ楽しさを育てています。</p> <p>【特に優れていると思われる点】</p> <p>1、ワンフロアの特性を活かした職員の連携 ワンフロアで小規模保育園なので、職員の連携がよく、子ども一人一人に目が届き全職員で見守る体制になっています。職員会議や日々のミーティングで子ども一人一人の様子を共有し、子どもの状況やその日の様子で保育の内容を柔軟に変更することができるようになっています。</p> <p>2、異年齢保育を通して思いやりの気持ち 3～5歳児は異年齢で日常的に過ごしています。縦割りグループで遊んだり、食事をしたり、異年齢で散歩に出かけ、年長児は年下の子どもの世話をし、やさしさや思いやりの気持ちが育ち、年下の子どもは大きい子どもへのあこがれ、目標の気持ちが育っています。0歳児がお昼寝の途中で泣き出し、職員に抱かれ廊下に出た時に年長児が傍によってあやすと泣き止むなど自然な交流が見受けられました。</p> <p>【改善を期待したい点】</p> <p>1、子どもが主体的に活動できる時間と環境構成を</p>	

おもちゃは低い棚にかごに入れて子どもが取り出して遊べるようになっていますが、職員が子どもの様子から、また遊びたいおもちゃを子どもに聞いて出しています。自由帳や粘土、クレヨンなどを個人持ちにして自由に取り出して遊べるようになっていますが制作素材は自由に使えるようにはなっていません。自由な表現活動を保障するために、いろいろな素材や用具、遊具を子どもたちが使いたいときに自由に取り出せるように用意し、子どもが自分で選んで取り出したり、片づけたりできる時間と環境設定を期待します。

1、保護者との情報交換に工夫を

乳児、幼児各室に早番、遅番にも常勤職員が入るようにシフトを調整し、担任伝言表や延長保育日誌を利用して保護者にその日の子どもの様子や連絡事項を伝えるようにしていますが、保護者アンケートでは、送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明についてどちらかというと不満が、24%となっています。お迎えの際に、必ず一言は職員と保護者の間で会話を交わすことを尚一層徹底するための具体的な仕組みを作ることが望まれます。

評価領域ごとの特記事項

<p>1.人権の尊重</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「子どもが自ら伸びようとする力を育てる保育」および「子どもの感受性や好奇心を自然な形で伸ばす五感で感じる保育」を保育理念とし「遊びを見つけられる子、素直で優しい子、くじけず最後まで頑張れる子」を園目標としており、いずれも子ども本人を尊重したものとなっています。 ・業務マニュアルに子どもに対しての接遇について詳細に記載されており、職員に周知されています。保育室はワンフロアになっているので、日々の保育の中で職員に気になる言動が見られる場合には、職員間でチェックし合っています。 ・3～5歳児は合同保育をしているので、プライバシーを守れる場所としては廊下を利用したり、パーティションで区切って落ち着いた空間を作っています ・守秘義務は、設置法人に誓約書を提出するなど全職員に徹底的に周知されています。派遣社員、ボランティア、実習生にもオリエンテーションで守秘義務について話し、誓約書を交わしています。 ・個人情報取り扱いマニュアルが整備され、全員で個人情報取り扱いに関するレポートを書き全職員に周知徹底しています。 ・保育活動では性差を意識づけるような声かけはしないようにしています。保育の中で気になる職員の言動があれば職員会議で取り上げ園長が指導しています。
<p>2.意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育課程は年度末に職員会議で討議し、保育方針に基づき子どもの発達・発育に沿って作成されており、子どもの最善の利益を最優先しています。 ・年齢別に年間・月間指導計画や週案を作成し、0～2歳児は、月間個別指導計画を作成しています。トイレトレーニング、離乳食の進め方、箸の使用などについては、家庭と連絡を取りながら進めています。

- 子どもの発達状況に応じて個別指導計画および月間指導計画を作成、実践した後の評価・反省に基づいて翌月の個別指導計画および月間指導計画を作成しています。
- 0～1歳児の保育室はパーティションで仕切られており、遊びごとにカーペットを敷いたりカラーボックスで囲って、落ち着いて活動できるようにしています。幼児クラスは同じ保育室内で、異年齢で構成された数グループに分かれて活動しています。
- おもちゃは低い棚のかごに入れて、子どもが取り出せるようになっています。年齢に応じたおもちゃを用意し、ままごと遊び、お絵かきコーナーなどを作り子どもたちが落ち着いて遊べるようにしています。
- 散歩で集めたドングリや松ぼっくりを使って製作活動につなげています。椅子取りゲームなどルールのある遊びを通して集団で遊ぶ楽しさを伝えています。
- 自由遊びの時間には職員が子どもたちに「何をする」と聞いています。子どもたちが自分で考え行動できることを大切にしています。
- きゅうり、枝豆、ピーマン、トウモロコシなどを栽培し、収穫したものを給食に使用したり、クッキング保育で調理し食育に活かしています。
- 近隣にはもえぎ野公園など自然の多い公園があり、お天気の良い日には毎日出かけ自然に触れる機会を多くしています。
- リトミックや、体操、英語教室など専任スタッフが年齢に合わせて指導を行い、職員も子どもの表現を引き出せるよう教室に参加し、楽しさを伝えています。
- 子ども同士のけんかの際には、職員は年齢や発達を考慮しながら子ども同士が自分の気持ちを言葉で表現できるように仲立ちをしています。
- 雨の日以外は散歩に出かけ、発達段階に合った、遊具や山登りできる公園、ボールで遊べる公園、アスレチックのある公園などを選んで行っています。
- その日の保育の様子は保育室のホワイトボードに掲示し保護者に伝え、その日の出来事を書いた「日めくり」を作製して、2～5歳児室の入口横に掲示しています。
- 保護者参観は保護者が参加しやすいように、日程に幅を持たせ、いつでも参加できるようにお知らせするなどの配慮をしています。

3.サービスマネジメントシステムの確立

- 入園前に、園長と担任が親子面談を実施して、家族構成や気になる点をヒアリングし、把握した情報を入園前面談シートに記録して個人別ファイルに保管し、職員が常時閲覧できるようにして日々の保育に活用しています。

	<ul style="list-style-type: none"> • 入園後の子どもの成長発達記録と児童票があり、個人別ファイルに保管され、職員はいつでも子どもの情報を確認できます。 • 現在障がい児は在籍していませんが、職員は設置法人が開催する障がい児保育についての研修に参加しています。 • 苦情対応マニュアルがあり、要望、意見、苦情の受け付けの担当は主任、解決責任者を園長とし、第三者委員の名前を「入園のご案内」に記載し玄関に掲示し保護者に知らせています。 • 健康マニュアルに基づき、子ども一人一人の健康状態を把握しています。入園前の健康状態は「健康調査票」を提出してもらっています。登園時に保護者から子どもの健康状態を聞き、登園後全園児に検温を行い記録し、子どもの健康状態を把握しています。 • 嘱託医による内科検診は年2回、歯科健診は年1回実施し、健診結果は個人健康記録票に記載し、保護者に書面で伝えています。 • 登園停止基準や保育中に感染症などの疑いが生じた場合の対応を入園説明会で説明するとともに「入園のご案内」で保護者に周知しています。 • 毎月1回消防訓練や不審者対応などの避難訓練を行っています。
<p>4.地域との交流・連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 自治会に加入し、散歩先の公園で遊ぶ地域の親子に声を掛けています。 • 荏田西保育園とグローバルキッズ保育園と一緒にプールやかるた、ドッジボールなどの交流保育を行っています。 • 育児相談や園の行事の案内を園のフェンスに貼ったり、保育コンシェルジュを通して情報を提供しています。園見学者に対して、育児上の困り事がないかどうかを聞いて育児相談に応じています。 • 近隣の病院や青葉区子ども家庭支援課、横浜市北部児童相談所などの地域の社会資源一覧表を作成して事務室に掲示しています。 • 園長が幼保小の連絡協議会に参加し、年長児が藤ヶ丘小学校の学校見学に参加したり、入学前に入学予定の子どもの様子を聞きに小学校校長の来園があったり、藤ヶ丘小学校体育館を運動会で借りるなど連携を取っています。 • 散歩で近隣の駅前公園やもえぎ野公園などを利用し、防災訓練で消防所を訪問したりしています。 • 設置法人のホームページ、青葉区役所の園の紹介パネル展、地域情報紙「まみた



	<p>ん園ナビ」、地域エリアガイド「あいとっと」に保育園情報を提供しています。</p>
<p>5. 運営上の透明性の確保と継続性</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 設置法人のホームページや「入園のご案内」にサービス内容、料金、職員体制など園の情報を掲載しています。 • 職員は守るべき倫理・サービス規定を入社時に研修を受け周知し、設置法人にはコンプライアンス委員会があり、不正は直接通知できる仕組みになっています。 • 保育所の理念や基本方針について職員は入社時に研修を受け、園長が年度初めに職員会議で確認しています。 • 園の運営や設置法人からの重要な事案については、園長は保護者会で説明したり直接手紙やお知らせで知らせ、意見を集めて意思決定を行っています。 • 事業運営に係る情報の収集分析は設置法人本部で行い、情報は園長会議で伝達され、職員会議などで話し合っています。 • 園運営上の重要な課題については園長は職員会議で説明し、改善に向けて取り組んでいます。 • 5年長期計画は「・生きる力を育てる保育・地域に開かれた保育」とし、中期計画はH26年度「・戸外遊びの充実を図り体力をつける・園生活においても生活習慣の樹立に努める。・地域の子育て支援の充実を図り、地域向けの支援内容を計画的に進める。」としています。 • 将来を見据えた新たな運営やサービスプロセスについて設置法人で常に検討し、園長会議やエリア長会議で話し合っています。
<p>6. 職員の資質向上の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 人材構成については園長が把握し、不足の場合は設置法人に要請して人材補充が行われています。 • 設置法人は「保育士人材育成ビジョン」を策定しています。年度初めに職員は自己目標を立て、実績や達成度について半期ごとに自己評価し、園長、エリアマネージャーの評価・アドバイスを受け次年度の目標に反映させています。 • 職員は日々の保育の記録をもとに自己の実践を振り返り、園は第三者評価を毎年受審して園の課題を抽出し、職員会議で話し合っています。 • 職員は法人の自由選択研修、階層別研修、市や青葉区の研修に参加し、研修受講後、研修レポートを作成し、全職員に回覧し、職員会議で話し合い、保育に活かしています。今年度はテーマを「食育」に絞って園内研修を行っています。

評価機関による評価



3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある

評価領域Ⅰ 利用者本人（子ども本人）の尊重

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成</p> 	<p>・「子どもが自ら伸びようとする力を育てる保育」および「子どもの感受性や好奇心を自然な形で伸ばす五感で感じる保育」を保育理念とし「遊びを見つけられる子、素直で優しい子、くじけず最後まで頑張れる子」を園目標としており、いずれも子ども本人を尊重したものとなっています。園長は職員が理念・基本方針を理解できているか、個人面談時に確認しています。</p> <p>・保育課程は年度末に職員会議で討議し、保育方針に基づき子どもの発達・発育に沿って作成されており、子どもの最善の利益を最優先しています。</p> <p>・年齢別に年間・月間指導計画や週案を作成し、0～2歳については月間個別指導計画を作成しています。自由遊びの選定に際しては、子どもが自分で考え行動できることを大切にしています。</p>
<p>I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<p>・入園前に、園長と担任職員が親子面談を実施して、家族構成や気になる点をヒアリングし、子どもの様子や親子関係についても観察しています。把握した情報を入園前面談シートに記録して個人別ファイルに保管し、職員が常時閲覧できるようにして日々の保育に活用しています。</p> <p>・入園前の親子面談時に、慣らし保育が重要であることを説明し、幼児は2～3日、乳児は10～15日の慣らし保育を実施しています。園での子どもの様子を0～2歳児は口頭と保育連絡ノートで、幼児は口頭およびホワイトボードの掲示して詳細に伝えるようにしています。</p> <p>・子どもの発達状況に応じて月間指導計画および個別月間指導計画を作成し、実践した後の評価・反省に基づいて翌月の指導計画を作成しています。</p>

I-3 快適な施設環境の確保

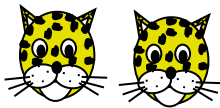


・0～1歳児室は北西側、2～5歳児室は南東側に開口部があり、陽光を十分に取り込んでいます。換気扇を24時間稼働し、布団を敷くときと午睡明けのときは窓を開放して換気をしています。保育室及び子ども用トイレに消臭・防菌効果があるタイルを導入しています。

・沐浴設備は、子ども用トイレの奥にあり、汚物処理や身体洗いに使用しています。夏場は、温水が出るホースをウッドデッキまで伸ばして、プール遊びの後や散歩の後の子どもの汗を流しています。

・0～1歳児の保育室はパーティションで仕切られており、遊びごとにカーペットを敷き、カラーボックスで囲って、落ち着いて活動できるようにしています。幼児クラスは同じ保育室内で、異年齢で構成された数グループに分かれて活動しています。

I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力



・0～2歳児については、個別月間指導計画を作成しています。トイレトレーニング、離乳食の進め方、箸の使用などについては、家庭と連絡を取りながら進めています。

・入園後の子どもの成長発達記録と児童票（0、1歳児は毎月、2歳児は2か月毎、3～5歳児は3か月毎に記録）があります。個人別ファイルは鍵が掛かる決められた書庫に保管され、職員はいつでも子どもの情報を確認できます。年度末には保育所児童保育要録を小学校に送付しています。

<コメント・提言>

・配慮を要する子どもに関しては、保護者が課題を認めていない場合でも個別指導計画を作成することが望まれますが、代替案としてワークシートを計画通り活用することが期待されます。

I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



・特に配慮を要する子どもに関する職員会議議事録や子どもの個人別ファイル並びに研修レポートなどは、鍵が掛かる書庫に保管されており、職員はいつでも必要な時には閲覧できるようになっています。

・現在障がい児は在籍していませんが、障がい児保育については設置法人が開催する研修に職員が参加し、研修後レポートを回覧して職員間で情報を共有しています。

・家庭支援の必要な保護者には、職員全員で声を掛けて、悩み事を相談しやすい雰囲気を作り、子どもを見守っていることをわかってもらえるようにしています。

・誤食の防止を図るために、毎月の献立表が出来上がった段階で、栄養士、園長、担任職員が全食材を確認した上で、アレルギーにマークを入れて保護者に配布して、保護者の同意を得ています。また、個別のアレルギーチェック表を作成し、前日に栄養士と園長または職員で内容を確認しています。配膳前に調理スタッフと保育スタッフがアレルギー食の内容を確認し、さらに保育スタッフ同士で確認してから子どもに提供しています。アレルギー児はテーブルを別にするか端に座り、職員が横について誤食を防いでいます。

・漢字を読むことが困難な保護者に対しては、ひらがなや口頭で意思の疎通を図り、子どもには、絵カードなどを用意して、意思の伝達に努めました。

評価分類

評価の理由（コメント）


I-6 苦情解決体制



・要望、意見、苦情の窓口として園長、第三者委員、設置法人、および、横浜市福祉調整委員会の連絡先電話番号を玄関ロビーに掲示しています。

・設置法人が作成した苦情対応マニュアルに苦情対応フローチャートがあり、受付担当者、受付後の対応、解決責任者（園長）、解決方法の検討（原因調査、解決方策検討会議、設置法人担当者への報告）、園長と申出人との話し合い、第三者委員の助言・調整から公表までの苦情対応プロセスを文書化しています。園単独で解決できない苦情を受け付けた場合には、設置法人企画開発室の担当者や青葉区福祉保健センター、北部児童相談所などに相談して解決する連携体制が整っています。

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="185 226 507 255">Ⅱ－１ 保育内容[遊び]</p> <div data-bbox="228 405 593 510" style="text-align: center;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃは低い棚のかごに入れて、子どもが取り出せるようになっていますが、職員が子どもに聞いて遊びたいおもちゃをその都度、提供し、自由遊びでは年長児が子どもたちに聞いて出しています。ブロック、クルマなど年齢に応じたおもちゃを用意し、カーペットを敷いたり机を用意して、ままごと遊び、お絵かきコーナーなどを作り子どもたちが落ち着いて遊べるようにしています。 ・一斉活動では子どもたちの好きな音楽をかけて曲に合わせて踊ったり、散歩で集めたドングリや松ぼっくりで制作活動につなげています。椅子取りゲームや爆弾ゲームなどルールのある遊びで集団で遊ぶ楽しさを伝えています。自由遊びの時間には職員が年齢や場面に応じて2, 3種類の遊びを提供し、飽きてきたら他の遊びを提供したり、子どもたちに「何をする」と聞いて提供しています。 ・きゅうり、枝豆、ピーマン、トウモロコシなどを栽培し、収穫したものを給食に使用したり、クッキング保育で調理し食育に活かしています。 ・近隣にはもえぎ野公園など自然の多い公園があり、お天気の良い日には毎日出かけドングリや松ぼっくりを拾ったりして自然に触れる機会を多くしています。 ・リトミックや、体操、英語教室など専任スタッフが年齢に合わせて指導を行い、職員も子どもの表現を引き出せるよう教室に参加し、楽しさを伝えています。自由帳や粘土、クレヨンなどを個人持ちにして自由に取り出せるようにしています。制作素材は自由に使えるようにはなっていません。 ・散歩やおやつ後の自由遊びの時間には子どもたちは、思い思いに絵を描いたり、歌を歌ったり踊ったりしています。 ・子ども同士のけんかの際には、職員は年齢や発達を考慮しながら子ども同士が自分の気持ちを言葉で表現できるように、相手の気持ちを理解できるように仲立ちをしています。 ・雨の日以外は散歩に出かけています。発達過程に合った、遊具や山登りできる公園、ボールで遊べる公園、アスレチックのある公園などを選んで行っています。 <p data-bbox="715 1350 967 1379"><コメント・提言></p> <p data-bbox="715 1382 1449 1503">おもちゃは低い棚のかごに入れて取り出せるようになっていますが、質量ともに少ないようです。子どもたちが自分で選んで取り出したり、片づけたりできるような環境設定を期待します。</p> <p data-bbox="715 1505 1449 1599">自由な表現活動を保障するために、いろいろな素材や用具、遊具が子どもたちが使いたいときに自由に取り出せるように用意されることが期待されます。</p>

Ⅱ－1 保育内容[生活]



- ・盛り付けは小食の子どもにはあらかじめ量を減らし、嫌いなものは「一口食べてみようね」と声をかけ、手づかみでも自分で食べるという気持ちを大切に見守り、「おいしいね。」「すごいね。たべられたね。」などと声をかけて完食の喜びを感じられるようにしています。
- ・3歳児から当番活動を行い、白衣を着て配膳を手伝って、クッキング保育を3歳から毎月1回行い、2歳児も野菜をちぎったり、トウモロコシの皮をむくなどを行い、子どもたちが食への関心を持てるようにしています。
- ・旬の野菜を使った献立にし、毎月1回行事食を用意し、見た目にも食欲がわくように盛り付けに工夫をし、0歳児はワンプレート、1歳児は深い皿、2歳児では浅い皿、3歳以上は茶碗、皿、椀など発達に応じた食器を使用しています。お箸はしっかりと持てるようになってから使い始めるようにしています。
- ・日誌や給食日誌に残食や子どもの喫食状況を記録し、毎月の給食会議で伝え献立作成の参考とし、調理方法などを検討、味付けや年齢により柔らかさや切り方に工夫をしています。
- ・毎月の献立表配布のほかに「今日の献立」を掲示し、給食の見本を置き、目で見てどんなものを食べたか保護者が確認できるようにし、給食便りで旬の食材や献立のワンプイントを記載し保護者に知らせ保護者に保育園の食事に関心を持てるようにしています。
- ・乳幼児突然死症候群に対しては0歳児は5分、1歳児は10分おきに呼吸のチェックをし、睡眠記録簿に記録しています。
- ・散歩前や午睡の前にトイレに行く時間を設けていますが、子どものリズムで自由にトイレに行っています。トイレトレーニングは園での排泄状況を連絡ノートや口頭で伝え、保護者と連携を密にし、保護者と相談しながら一人一人の成長・発達に基づき個別に対応しています。

Ⅱ－2 健康管理・衛生管理・安全管理[健康管理]



- ・健康マニュアルに基づき一人一人の健康状態を把握しています。入園前の健康状態は「健康調査票」を提出してもらい、登園時に保護者から子どもの健康状態を聞き、全園児登園後検温を行ない、全職員子どもの健康状態を把握しています。保育中の健康状態については必要に応じて連絡ノートに記載し、担任が送迎時に口頭で伝えています。
- ・嘱託医による内科健診は年2回、歯科健診は年1回実施し、健診結果は個人健康記録票に記載し、保護者に書面で伝えています。子どもの健康や歯の疑問点などについて嘱託医に連絡して指導してもらえるようになっていきます。
- ・登園停止基準や保育中に感染症などの疑いが生じた場合の対応が明記された感染症・食中毒対応マニュアルを入園説明会で説明するとともに「入園のご案内」で保護者に周知しています。保育中に感染症が発症した場合は、速やかに保護者に連絡し、保護者が迎えに来るまで2歳児の保育室を空けて休ませ、直ちに情報を玄関と各保育室に掲示しています。
- ・感染症に関する最新情報は横浜市こども青少年局運営課や青葉区から届き、直ちに園内に掲示し、職員は共有しています。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理
[衛生管理]



・設置法人作成の衛生管理マニュアルがあり、見直しは年度末に全職員から意見を出してもらい、まとめたものを本部に提出し、設置法人で見直しを行っています。マニュアルは入社時研修で周知するほか、事務室に保管し、必要時に確認できるようにしています。

・マニュアルに基づき清掃が行われて清潔に保たれています。

<コメント・提言>

清掃記録表に記入もれがあります。記入もれがないようにすることが期待されます。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理
[安全管理]



・安全管理マニュアルがあります。年度末に読み合わせを行い全職員は周知しています。乳児の部屋では椅子はダンボールで囲み、備品は転倒防止策が講じられています。

・事故や災害の場合のフォローチャート、医療機関を含めた社会資源一覧表も壁に掲示し、緊急連絡体制が整備されています。毎月1回消防訓練や不審者対応などの避難訓練を行っています。広域避難場所の藤ヶ丘小学校で運動会を行い、避難場所を保護者に周知しています。

・子どものけがについては、軽傷であっても日誌やアクシデントレポートに記録し、保護者に必ず報告するようにしています。担任が不在の時には担任伝言表に記録して保護者にけがの状況がわかるように報告しています。事故は設置法人本部に報告し、職員会議で事故の報告、検討し再発防止に努めています。

・玄関はオートロックで施錠され、訪問者の顔を確認してから開錠しています。警備会社と契約し、緊急通報体制が確立されており、散歩の際にも携帯用端末機器を常時携帯しています。不審者情報は青葉区こども家庭支援課から随時ファクス等で連絡が入るようになっています。

評価分類

評価の理由（コメント）

Ⅱ－3 人権の尊重



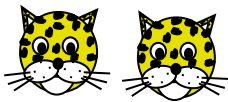
- ・業務マニュアルに子どもに対しての接遇について詳細に記載されており、職員に周知されています。保育室はワンフロアになっているので、日々の保育の中で職員に気になる言動が見られる場合には、職員間でチェックしあっています。
- ・3～5歳児は合同保育しているので、プライバシーを守れる場所としては廊下を使用し、子どもと一対一で話せる場所として、廊下を利用したり、パーティションで区切って落ち着いた空間を作っています
- ・守秘義務は、設置法人に誓約書を提出するなど全職員に徹底的に周知されています。派遣社員、ボランティア、実習生にもオリエンテーションで守秘義務について話し、誓約書を交わしています。
- ・個人情報取り扱いマニュアルが整備され、全員で個人情報取り扱いに関するレポートを書くことにより全職員に周知徹底しています。派遣社員、ボランティア、実習生にもオリエンテーションで守秘義務について話し、誓約書を交わしています。
- ・活動をするに当たって、並び方は月齢順とし、色紙を選ぶときにも子どもが好きな色を選択し、帽子の色もクラス別に分けています。

Ⅱ-4 保護者との交流・連携



- ・入園時に配布する入園のご案内に運営理念が書かれており、入園説明会時に読み上げて説明し、保護者が理解しているか、年度末に実施する保護者アンケートに、運営理念に関する設問を設けています。
 - ・相談内容は、相談シートに記録していますが、継続的なフォローが必要な相談案件に対しては、継続的なフォローを実施し、記録を残すことが望まれます
 - ・その日の保育の様子は保育室のホワイトボードに掲示し（0～2歳児は保育連絡帳も使用して）保護者に伝えるほか、子どもの午睡時間に、その日の主な出来事を書いた「日めくり」を作製して、2～5歳児室の入口横に掲示しています。
 - ・保護者からの相談には内容に応じて園長が対応し、子どもが少ない土曜日や空いている保育室で話せるように配慮しています。
 - ・保護者参観は保護者が参加しやすいように、日程の幅を持たせたり、いつでも参加できることをお知らせするなど配慮をし、保護者参加としては日程を設けていませんが、保護者参観日に親子クッキングやベビーマッサージやお店屋さんごっこを開催して親子で参加できるように配慮しています。
- <コメント・提言>
- ・お迎えの際に、必ず一言を職員と保護者の間で会話を交わすことを尚一層徹底することが期待されます。

評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅲ-1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会に加入、散歩先の公園で遊ぶ地域の親子に声を掛けていますが地域の子育て支援ニーズを把握するまでには至っておりません。 ・荏田西保育園、グローバルキッズ保育園とプールやかるた、ドッジボールなどの交流保育を行っています。 ・園の中長期計画に地域の子育て支援の充実を図り、地域向けの支援内容を計画的に進めるとして 地域の子育て支援ニーズに関して職員間で話し合いをし地域住民を対象とした離乳食試食会を、今年度は11月に開催予定です。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・育児相談や園の行事に近隣住民を招待した際などにアンケートを取って、地域の子育て支援ニーズを積極的に掘り起こすことが期待されます。

Ⅲ－２ 保育所の専門性を活かした相談機能

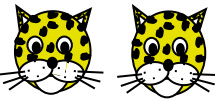



・育児相談や園の行事の案内を園の門に貼り情報を提供し、毎週水曜日（10～11時）を育児相談日とし園見学者に対して、育児上の困りごとがないか聞いて相談に乗っています。

・近隣の病院や青葉区こども家庭支援課、北部児童相談所などの地域の社会資源一覧表を作成して事務室に掲示しています。

・青葉区こども家庭支援課、北部児童相談所、青葉区福祉保健センター保健師とは日常的に連携できる体制にあります。

評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅳ－１ 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<p>・夏祭りや運動会のポスターを園のフェンスに掲示し、地域住民を招待しています。運動会には兄弟や卒園生が参加、夏祭りには1組の親子が参加しました。園長が幼保小の連絡協議会に参加し、年長児が藤ヶ丘小学校の学校見学に参加したり、入学前に小学校校長が入学予定の子どもの様子を聞きに来たり、藤ヶ丘小学校体育館を運動会で借りるなど連携を取っています。</p> <p>・散歩で近隣の駅前公園やもえぎ野公園などを利用し、防災訓練で消防所を訪問したりしています。</p> <p>・運動会には藤ヶ丘小学校の校庭を借りて実施し、年長児が就学前に見学し小学校と交流しています。グローバルキッズ藤ヶ丘保育園、荏田西保育園とプールやドッジボール、かるた大会などの交流をしています。</p> <p><コメント・提言> 地域の方に保育園を知ってもらうためにも定期的、計画的に地域の団体と交流の機会を持つことが期待されます。</p>
<p>Ⅳ－２ サービス内容等に関する情報提供</p> 	<p>・設置法人のホームページに写真付きで園の情報を掲載し、青葉区役所主催の園の紹介のパネル展に参加し情報を提供し、地域情報紙「まみたん園ナビ」や地域エリアガイド「あいとっと」に保育園情報を提供しています。設置法人のホームページや「入園のご案内」に、サービス内容、料金、職員体制などを記載しています。</p> <p>・園の運営やサービス内容などは、ホームページ、パンフレット、「入園のご案内」に掲載しており、問い合わせには園長が対応しています。</p> <p>・問い合わせがあったときには、随時、見学ができることを伝え、見学希望者には希望の時間に合わせて日時を決め対応しています。食事・午睡の時間11時～15時をさけ一組ずつ案内しています。保育園の基本方針や利用条件・サービス内容等について、パンフレット、「入園のご案内」等の資料や文書に基づいて説明しています。</p>

IV-3 ボランティア・実習の受け入れ




・ボランティア受け入れマニュアルが整備されています。担当を園長として、マニュアルに基づいて受け入れの意義、目的などを説明しています。昨年度はクリスマス会のサンタクロース役のボランティアの来園がありましたが、受け入れの記録はありません。



・実習生受け入れマニュアルが整備され、受け入れ時にはオリエンテーションを行って、園の方針、守秘義務などを説明し、誓約書にサインしてもらっています。受け入れの実績がありません。

<コメント・提言>



- ・地域住民に保育園を理解してもらうためにもボランティアの受け入れを期待します。
- ・将来の保育士を目指す実習生を受け入れ、指導することは保育内容や保育姿勢を見直すきっかけともなります。積極的に受け入れることが望まれます。

評価領域V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>V-1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材構成については園長が把握し、不足の場合は設置法人に要請して人材補充が行われています。 ・設置法人は「保育士人材育成ビジョン」を策定し、社内研修を行い、園長は職員会議・職員面談で理念・方針に基づく保育実践について指導しています。 ・年度初めに職員は自己目標を立て、実績や達成度について半期ごとに自己評価し、園長、エリアマネジャーの評価・アドバイスを受け次年度の目標に反映させています。 ・今年度はテーマを「食育」に絞って園内研修を行っています。非正規職員は研修に参加していませんが研修内容は研修レポートや職員会議録を読み、クラス担任が伝達、フォローしています。正規職員は法人の自由選択研修、階層別研修に参加し、市や青葉区の研修に参加しています。研修受講後、研修レポートを作成し、全職員に回覧し、職員会議で話し合い、保育に活かしています。研修成果は、半期ごとに見直し、次期の研修計画の策定につなげています。 ・業務マニュアルは非正規職員を含め全職員が見られるようになっています。正規職員が受けた研修内容は会議録の回覧で全職員に周知しています。非正規職員の指導は園長、主任が当たり、O.J.Tにより資質向上を図っています。

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>V-2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は日々の保育の記録をもとに自己の実践を振り返り、園は第三者評価を毎年受審して園の課題を抽出し、職員会議で話し合っています。 ・保育技術の指導を外部専任講師や臨床心理士など専門家から受ける仕組みを持っています。外部のリスク管理の専門家によるけがの予防などの指導を受けています。 ・年間指導計画、月間指導計画、週案、保育日誌に評価反省の記入欄があり、保育実践の振り返りを行っています。 ・自己評価は指導計画のねらいや配慮事項に基づいて行い、子どもの活動への取り組む様子や成長発達の様子を観点として、評価反省を行っています。 ・職員は職員会議などで意見を出し合い、自己の保育技術を自ら評価し、次期の計画に改善内容を盛り込んでいます。 ・毎年受審する第三者評価を通じて職員は自己評価を行い、抽出した課題について職員会議などで話し合い改善に向けて取り組んでいます。園の自己評価は第三者評価の評価項目を活用しており、運営理念、基本方針に沿って行われています。第三者評価を通じて把握した園の課題と改善予定について、今年度末までに公表する予定です。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価の結果と園の自己評価を、誰でも見ることができるよう園だよりに記載したり、エントランスに置くことが期待されます。
<p>V-3 職員のモチベーションの維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・設置法人作成の「保育士人材育成ビジョン」「保育士に求められる役割・能力」があり、経験・能力に応じた役割水準が明文化されています。 ・園長は可能な限り現場職員に権限を委譲し、園長不在時には主任、担当職員の判断に任せ、事後園長に報告する体制になっています。 ・園長は職員会議や年2回の個人面談で職員の満足度・意見・要望などを把握しています。

評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>VI-1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務マニュアルの中に就業規則があり、職員の守るべき倫理・サービス規定を明文化しています。職員は入社時に研修を受け周知しています。設置法人にはコンプライアンス委員会があり、不正は直接通知できる仕組みになっています。 ・他施設での不正、不適切な事案は園長会議などで検討して園に持ち帰り職員会議などで話し合っています。事案によっては全職員がレポートを提出するなどしてモラルアップを図っています。 ・ペットボトルの蓋の回収ボックスを設置しエコキャップ活動を行い、牛乳パックやトイレットペーパーの芯などを集め、おもちゃや備品の製作に利用しています。園としての環境への考え方を玄関の壁に掲示して子どもや保護者に知らせています。
<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・理念・基本方針を更衣室に掲示し、園長は年度初めの職員会議で理念や基本方針について職員に確認しています。 ・園の運営や、設置法人からの重要な事案については、園長は保護者会で説明したり保護者に直接、手紙やお知らせで知らせ意見を集めて意思決定を行っています。生活発表会の場所の決定にあたって保護者にアンケートを取り、今年度は園で2部制で行う決定をしました。園の大きな行事の際には、検討チームを作り全職員が組織をあげて取り組んでいます。 ・主任は個々の職員の業務状況を把握し、係りや分担、シフトの作成を行い、各クラスの保育の現場を見て随時保育に入って職員への適切な指導や助言を行っています。
<p>VI-3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業運営に係る情報の収集分析は設置法人本部で行っています。情報は園長会議で伝達され、職員会議などで話し合っています。 ・園運営上の重要な課題については職員会議で説明し、全職員に承知して改善に向けて取り組んでいます。 ・5年長期計画は「・生きる力を育てる保育・地域に開かれた保育」とし、中期計画はH26年度は「・戸外遊びの充実を図り体力をつける・園生活においても生活習慣の樹立に努める。・地域の子育て支援の充実を図り、地域向けの支援内容を計画的に進める。」としています。 ・将来を見据えた新たな運営やサービスプロセスについて設置法人で常に検討し、園長会議やエリア長会議で話し合っています。 ・次期園長、主任を育成するために、階層別研修や主任研修を計画的に実施して職員のレベルアップを図っています。 ・設置法人は運営に関し、リスクマネジメントの専門家などの指導を受ける体制があります。



利用者家族アンケート

施設名：アスク和田町保育園

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

結果の特徴

◇ 調査対象

調査時点での在園児数69名、全保護者60家族を対象とし、回答は30家族からあり、回収率は50%でした。

◇ 調査方法

評価機関で準備した「家族アンケート用紙」と返信用封筒を、保育園から保護者に直接渡し、約2週間後までに密封して匿名で保育園で用意した回収箱に入れてもらい、密封のままの状態の評価機関が回収しました。

◇ 総合満足度

施設に対する総合評価は、肯定的な回答が90%（満足57%、どちらかといえば満足33%）となっており、否定的な回答は10%（どちらかといえば不満10%、3人）となっています。

◇ 比較的満足度の高い項目

- 1)「園の基本理念や基本方針の認知について」の回答（よく知っている、まあ知っているの合計）は56%でしたが、この全員が内容について賛同できると回答しています。
- 2)日常の保育内容 生活についての設問で、「給食の献立内容について」の回答（「満足、どちらかといえば満足」の合計）は100%、「昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているか」の回答は、同97%と高い評価でした。
- 3)園と保護者との連携・交流についての設問で、「お子さんに関する重要な情報の連絡体制について」の回答（「満足、どちらかといえば満足」の合計）は100%、「保護者からの相談ごと」、「送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換について」の回答は、同97%と連携や交流には満足している様子がうかがわれます。
- 4)日常の保育内容の遊びについての設問で、「自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動について」、「遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているか」の回答（「満足、どちらかといえば満足」の合計）はそれぞれ97%、「子どもが戸外遊びを十分しているか」の回答は、同94%となっており園外活動や戸外遊びなど評価が高いことがうかがわれます。
- 5)職員の対応について、「あなたのお子さんが保育園生活を楽しているか」の回答（「満足、どちらかといえば満足」の合計）は97%と高い評価でした。

◇ 比較的満足度の低い項目

- 1)職員の対応について、「意見や要望への対応について」の設問に対し、「どちらかといえば不満、不満の合計」は17%ありました。
- 2)保育園の快適さや安全対策について、「施設設備について」、「お子さんが落ち着いて過ごせるか」の設問に対し、「どちらかといえば不満、不満」の合計は、それぞれ14%、10%ありました。
- 3)日常の保育内容 生活について「お子さんの体調への気配りについて」、「年間の保育や行事の説明について」の設問で、「どちらかといえば不満、不満の合計」は、それぞれ13%ありました。
- 4)「園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供」は「どちらかといえば不満」が10%ありました。

調査結果

■園の基本理念や基本方針について

施設の基本理念や基本方針の認知	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
	23%	33%	14%	23%	3%	4%

↓ 問1で「よく知っている」、「まあ知っている」と回答した方のうち

付問1

理念や方針への賛同	賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答
	71%	29%	0%	0%	0%	0%

■施設のサービス内容について

問2 入園した時の状況

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れについては	53%	27%	3%	0%	14%	3%
	その他:					
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	43%	47%	3%	0%	4%	3%
	その他:					
園の目標や方針についての説明には	37%	47%	7%	0%	6%	3%
	その他:					
お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	47%	37%	10%	0%	3%	3%
	その他:					
保育園での1日の過ごし方についての説明には	40%	43%	7%	0%	7%	3%
	その他:					
入園後に食い違いがなかったかなども含め、費用やきまりに関する説明については	40%	40%	13%	0%	4%	3%
	その他:					

問3 保育園に関する年間の計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事についての説明には	50%	37%	13%	0%	0%	0%
	その他:					
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	37%	50%	10%	0%	3%	0%
	その他:					

問4 日常の保育内容について

遊びについて

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	63%	27%	3%	3%	4%	0%
	その他:					
子どもが戸外遊びを十分しているか については	67%	27%	6%	0%	0%	0%
	その他:					
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置 いてあるか、年齢にふさわしいかな ど)	57%	33%	3%	3%	4%	0%
	その他:					
自然に触れたり地域に関わるなど の、園外活動については	60%	37%	3%	0%	0%	0%
	その他:					
遊びを通じて友だちや保育者との関 わりが十分もてているかについては	60%	37%	3%	0%	0%	0%
	その他:					
遊びを通じたお子さんの健康づくり への取り組みについては	63%	30%	7%	0%	0%	0%
	その他:					

生活について

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	77%	23%	0%	0%	0%	0%
	その他:					
お子さんが給食を楽しんでいるか については	70%	23%	0%	3%	4%	0%
	その他:					
基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗 いなど)の自立に向けての取り組み については	63%	30%	0%	3%	4%	0%
	その他:					
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じ て対応されているかなどについては	70%	27%	3%	0%	0%	0%
	その他:					
おむつはずしは、家庭と協力し、お 子さんの成長に合わせて柔軟に進め ているかについては	57%	30%	0%	0%	13%	0%
	その他:					
お子さんの体調への気配りについて は	60%	27%	10%	3%	0%	0%
	その他:					
保育中にあったケガに関する保護者 への説明やその後の対応には	57%	33%	7%	3%	0%	0%
	その他:					

問5 保育園の快適さや安全対策について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
施設設備については	30%	53%	7%	7%	3%	0%
	その他:					
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	30%	57%	7%	3%	3%	0%
	その他:					
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	37%	54%	3%	3%	0%	3%
	その他:					
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	47%	47%	6%	0%	0%	0%
	その他:					

問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	57%	40%	0%	0%	3%	0%
	その他:					
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	60%	30%	10%	0%	0%	0%
	その他:					
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	60%	33%	0%	3%	4%	0%
	その他:					
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	57%	40%	3%	0%	0%	0%
	その他:					
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	60%	40%	0%	0%	0%	0%
	その他:					
保護者からの相談事への対応には	57%	40%	0%	0%	3%	0%
	その他:					
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	67%	24%	3%	3%	0%	3%
	その他:					

問7 職員の対応について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	53%	37%	3%	0%	7%	0%
	その他:					
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	67%	30%	3%	0%	0%	0%
	その他:					
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	57%	27%	0%	0%	16%	0%
	その他:					
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	63%	30%	3%	0%	4%	0%
	その他:					
意見や要望への対応については	53%	30%	14%	3%	0%	0%
	その他:					

問8 保育園の総合的評価

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答
総合満足度は	57%	33%	10%	0%	0%



観察方式による利用者本人調査

平成 26 年 8 月 8 日、13 日

施設名：アスク和田町保育園

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

◇0 歳児

遊び

0 歳児のクラスは 2 つの間仕切りを使って 3 つのエリアに分け、静と動の空間の保育室になっています。真ん中に位置する「動」の部屋では様々の色の柔らかいボールが人数分以上に転がり、子どもはお気に入り片手に持って、よちよち歩きをしたり、職員とのボールのやりとりを楽しんでいます。調査員が間仕切越しに「おはよう」とあいさつすると、そばまでよちよちやってきて、間仕切につかまり、体を上下にゆすってあいさつを返す子どもや間仕切越しに手を伸ばしスキンシップをねだる子どもがいます。また、担当の職員の膝に座って遠くから調査員をジッと見て「にこっ」と笑顔を見せる子どもや、にこにこと立ったり座ったり遊んでいたのに、久しぶりにきた職員が部屋に入ると急に泣き出し、大慌てで慣れている職員の膝に座り、恐る恐るその顔を確認している子どももいます。そばで、はいはいしていた子どもが「ヨイショ」と立上がり、職員に向かって一歩進み、二歩目でドスンとおしりをつき、職員が「〇〇ちゃんが歩いた、歩いた」と大喜びしています。奥の畳を敷いた部屋では数人の子どもが午前寝でぐっすり寝ています。

◇1 歳児

遊び

子どもたちは、今遊んでいた玩具を片付けて、着替えのために壁に沿って順番を待っています。プール遊びが好きな子どもはさっと気持ちを切り替えておもちゃを片付けていますが、切り替えが出来ずに「遊びたい」と大声で泣いている子どもがいます。職員は泣いている子どもに声をかけ、一緒に廊下から友達の水遊び袋をクラスに運び、職員との手伝いに得意げな表情になりました。子どもたちは順に職員に呼ばれて一人一人手伝ってもらい、着替えをすませます。友達のおもちゃを片付けながらまたそれで遊んでしまう子どもや、自分でズボンを脱いで順番を待つ子ども、「運動会の赤白帽をかぶりたい」と主張し通した子どももいます。皆が揃い列を作って、すのこの上を「1, 2, 1, 2」と進んでプールに向かいます。

プールに入る前に小さなたらいで 4 人ずつ四方を向いておしりをつけて消毒し、小さなビニールプール 2 つで水遊びをしています。プールの中に入る子どもや、外側にしゃがみ込んで手にしたおもちゃで水を出したり、好きなように遊んでいます。2 つのプールを出たり入

ったりして、おままごとの入れ物やボール、スポンジ、ペットボトルなどで遊んでいます。友達が持っているおもちゃに興味を持ち取り上げてしまうと、取られた子どもは大泣きしています。職員が両方の子どもに声がけし、何事もなかったように遊び続けています。子どもたちは向き合ってプールに入り、「きゃっきゃ」と楽しそうに笑っています。プールの後は昼食までぬいぐるみや電車とレールで静かに遊んでいます。

午睡

パジャマに着替えて、自分の布団に行つて横になります。職員は子どもの間に座り、子どもに体をトントンしたり、抱っこしてゆすっています。すでに寝ついている子どももいれば、布団の周りを歩いている子どももいます。30分ほどすると全員眠りにつきました。

◇2歳児

食事

3つのテーブルをつなげ、4人ずつ座り食事をします。献立は夏まつりの屋台風で「スープ、焼きそば、茹とうもろこし、スイカ」です。配膳の時、職員はスプーンを使うか、フォークを使うか子どもに聞き、スプーンの子どものには麺を皿の上で短く切って食べやすくしています。食事の前の約束をみんなで確認し、「お皿はおなかのそばにおきます。お口に食べ物が入ったらおしゃべりしません」と一斉に唱和し大きな声で「いただきます」をします。真っ先に実がなくなるまでとうもろこしにかぶりつく子どももいます。夏祭りを思い出して会話が弾み、ある程度皿の中がなくなると、職員がスイカを配ります。とうもろこしに時間をかけていた子どもは、あわてて焼きそばにフォークを運びます。食事に時間が掛かってしまった子どもに職員が「〇〇ちゃん頑張れ」と声を掛けると、友達が「〇〇ちゃんがんばれ」と声援します。最後まで食べたい子どもはテーブルを隅に寄せてもらい、子どもは完食しました。

食後の歯磨きと着替え

食事が終わった子どもから、用意してある籠から自分の歯ブラシとコップを持って椅子に座り、歯磨きを始めます。磨き終わると職員に仕上げ磨きを頼みます。職員は「どうかな？ 緑（にら）が付いているよ」などと話しかけながら仕上げ磨きをし、終わった子どもはパジャマに着替えます。ズボンを簡単に脱ぎ、履くときは、片方の足が入っても、もう一方がなかなか入らず、難しそうです。「壁に寄り掛かるのは？」と職員の助言で頑張ります。紙パンツの子どもは両手でパンツを引き上げますが、おしりがうまく入らず、膝まで下ろしたり、上げたり挑戦しています。また、子どもが上着を脱ごうと両手を使って頑張っていると、職員が「手をばってんするといいよ」といい上手に脱げました。着替えを済ませた子どもは椅子を並べた絵本コーナーでお友だちの準備を待っています。

遊び

プール遊びが終わって温水シャワーを浴び、食事まで3つのエリアで子どもは自由に遊びます。机にはワミー、大きなひも通し、細かいひも通しがあり、職員が積み木程の大きさのものにひもを通す見本を見せています。「聞きたいことがあったら先生に聞いてね」というと「ハアーイ」と子どもは黙々とひも通しをしています。また、子どもが机に来てワミーのふたを開けようとして誰に言うともなく「できない」と言うと、「あけてくださいい？」と職員に促され、言い直し、子どもはワミーに取り掛かることができました。ひも通しの机では、子どもがひもにいろいろなものを通して職員や調査員に見せ、ほめられると満足そうにしています。ひも通しの材料を「ザッ」と元に戻したり、ひもの先の重さを知って振り回したり、面白くて「もっとやりたい」と、なかなかひもを渡さなかったりと様々です。

◇3 歳児

製作活動

少し厚手の色紙に、大きなハートの図を描いて、子どもたちに配り、ハサミで、ハートに切り出す製作の課題に挑戦することになりました。ハサミは直線切りの経験しかなく、曲線で切り抜くのは初体験です。初めはどの子どももハサミをどう動かしていいか戸惑っていましたが、職員から手を添えられて、カーブに沿って切っていく要領を教えられると、皆真剣に無口になって切り始めました。初めは曲線の上をスムーズに切れません。「線に沿って切るのよ」と、職員が一人一人に声掛けして回っています。少しずつ切って、ハート型の切り抜きができると、作品を持って「できた！できた！」と立ち上がって喜んでいました。子どもたち全員がハートの切り抜きを完成させると、皆満足そうな顔をしていました。使ったハサミは職員に言われなくても、ハサミ箱に納めていました。

◇5 歳児

体操教室

4、5歳児クラスの境目に置いている背の低いボードを移動して、部屋を広くして体操教室の場所とします。(4歳児は園庭でのプール遊びで室内にはいません)

直径5センチメートルぐらいの柔らかいカラーボールを使った、体操が始まります。

まず、ボールを各自あごの下に入れて、落とさないように歩き回ります。次いで専任講師の掛け声で走り回ります。次に頭と右側の肩にボールを挟んで、歩いたり走ったり、左の肩に移して歩いたり走ったり。時々ボールを落とすと、はずむボールを大声で追いかけて拾って続けます。子どもたちはボールを落とさないように真剣です。ボールを追いかけて、子ども同士がぶつかって転んでも、喜んで続けています。ボールの挟む位置を脇の下、膝の間、足首の間にしたり、飛んだり跳ねたりしています。難しい場所に挟んで成功すると職員に褒められ、「出来たよ」と大喜びしています。

講師がロープで部屋の中央を仕切り、部屋中に300個程度のボールをばらまきます。子どもたちを2チームに分けて、仕切り線に座って対峙させます。ボールを相手陣へ投げ合うゲ

ームです。講師が「相手側にたくさん投げ入れたら勝ち、ただ投げるとき相手チームの人にぶつけないこと」とゲームのルールを告げて、ゲーム開始です！ 子どもたちは我先にボールを掴んでは投げています。夢中になって頑張り、部屋中にボールが飛び交います。そのうちボールを何個も拾い集めて、まとめて相手側に投げたり、目の前にあるボールを次々に相手側に転がしてたりするなど、勝負にこだわる工夫が生まれます。講師がゲーム終了を告げ、それぞれのチーム内のボールを数えて、〇〇チームの勝利を宣言します。勝ったチームの子どもたちは大きな声で勝利を喜び合っています。2回戦目は△△チームの勝利となり、勝ったチームは大歓声で勝利に酔っています。ゲームはもう一度行って、子どもたちは興奮して勝利の決着をつけました。

そのあと、ボールの片付けの掛け声をかけると、全員夢中になって部屋中に散らばっているボールを拾い集め、瞬く間に終了し、子どもたちは皆満足して体操教室は「ありがとうございました」のあいさつで終わりました。

◇4-5 歳児

昼食

各クラスの食事当番の子どもがクラスごとに2名ずつ、エプロンを身にまとい、頭にバンダナを職員に付けてもらい、お茶、お食事の皿、スープと箸を子どもたちが座っているテーブルに運びます。終わると、4人の当番が並んで、配った内容を一つ一つ尋ねます。子どもたちは声を合わせて「ありますー」と答えています。「それではいただきます」「いただきます」と合わせて、食事を賑やかに始めました。

調査員が座ったテーブルの5歳児の子どもたちは、さきほどのボールゲームの結果について、勝って良かったと満足して話し合っていました。盛り付けられた鶏肉は、大好きなので最後と言う子どもがいる一方、肉からおいしそうに食べる子どももいます。スイカを掴んで「種も食べるんだ」とある子が言うと、「種はおなかの中に入ると芽を出して、口から出てくるよ」と大笑いしています。「うそうそ！」「うそでした！」など、冗談を言いながら、楽しく食べています。

食事が終わると、職員の声掛けに従って、スイカの皮、鶏肉の骨などはビニールの袋に入れて、食器の種類ごとに揃えています。全員完食のようでした。

午睡（準備も含めて）

自分たちの布団を、布団の置いている棚から職員に持ち出してもらって、部屋に並べていきます。シーツ、上掛けを合わせてセットにしています。それぞれには番号がついていて、それを見ながら合せています。番号をみて「〇〇君はお休みだよ」と言いながら、職員に戻っています。みんな、番号で誰のものか知っているようです。「△△ちゃんは××ちゃんの隣がいいの？」などと言いながら並べていきます。

始め、乱れていた並べ方は、最後は部屋中にきちん並び終わりました。

それから、各自、パジャマに着替えたり、トイレに行ったり、静かに過ごす時間を経て、各自自分の布団に横になります。

【受審の動機】

運営主体の理念として、「利用者に本当に求められるサービスを提供すること」を掲げております。利用者が園に求めている事柄や日々の真の想いを把握し、日々の運営に反映させるため、本年も評価受審に取り組みました。

開園当初より、同じ評価機関に評価を依頼することで、比較がしやすく、運営方針等も十分にご理解いただいた上で調査を実施していただけると感じております。

また、今年で開園 8 年目となり、これまで築いた土台に加え、今年度の園の取り組みや対応を振り返ることで、職員一人一人が自らの保育を見直す良い機会であったと捉えています。

今後も常に利用者のニーズに添い、子どもに寄り添いながら、選ばれ続ける施設でありたいと考えております。受審にあたっては、職員一人一人が趣旨を理解し、取り組むことが出来ました。

【受審した結果】

この受審をきっかけとして、全職員が自分自身の保育や園全体の運営について、基本的なことから見つめ直すことができ、客観的自己評価の大切さを実感することができました。

また、評価結果をもとに、保育の役割と機能、地域における役割や結びつきの大切さといったものを再認識することができ、今後も保育内容の改善・充実を図りながら、より求められる保育園を作っていこうと決意いたしました。

今年度は特に、前年度指摘事項の「地域支援機能」にも意欲的に取り組み、達成率の向上が見られたことは大きな成果でした。また、日頃より利用者とのコミュニケーションを密にとり、信頼関係を築いていくことを大切にしている私たちにとって、今年度も職員の対応などをはじめとする利用者満足度が高いという結果は大変嬉しいもので、励みになりました。

その反面、開かれた園の運営という課題は不足している面がありますので、努力していく所存です。今後も引き続き、地域に開かれ、親しまれる園を目指して中長期的な展望のもとに、園運営の方向性を示して、その実現に向けて努力してまいります。

最後に、今回の第三者評価の受審に際し、ご尽力いただいた評価機関の皆様、そしてご多忙にも関わらず、利用者調査にご協力いただいた保護者の皆様に心より感謝申し上げます。